

会社経歴書

Corporate Profile

2025



● 会社の概要

■商号■ AGC ミネラル株式会社

■本店所在地■ 〒105-0014

東京都港区芝3丁目1番15号 芝ボートビル6階

代表電話(03)5419-9010

■会社の目的■

- (1) 鉱産物、土石、窯業原材料の採取、製造、加工及び売買
- (2) 次の各製品及びこれらに関連する各種製品の製造、加工及び売買
 - (ア) 各種化学工業品
 - (イ) 無機質系ガラス製品
 - (ウ) 鉛、アンチモン、その他の金属並びにその化合物及び応用材料
- (3) 建築工事の設計、施工、請負、監理並びに建築関連資材の製造、加工及び売買
- (4) 窯業機械部品、包装材料の売買
- (5) セラミック製品製造プラント、ガラス製品製造プラントの売買
- (6) 自動車運送取扱業
- (7) 不動産の賃貸
- (8) 産業廃棄物収集、処理業
- (9) 前各号に附帯する一切の事業

■設立日■ 昭和13年(1938年)3月16日

■決算期■ 12月31日(年1回)

■資本金■ 4億円(授權資本16億円)

■株主■ AGC株式会社 100%

■役員■ 西田直哉 代表取締役・社長執行役員

鈴木克佳 取締役・執行役員

岩倉清悟 取締役(非常勤)

神田知幸 取締役(非常勤)

大沼敏也 監査役(非常勤)

■従業員■ 46名(契約社員・派遣社員等を含む)

■主な所属団体■

愛知県珪砂鉱業協同組合

■主な外部認証■

ISO9001:2015 02250-2009-AQ-KOB-UKAS

ISO14001:2015 02296-2009-AE-KOB-UKAS-R

■事業免許■

第一種貨物利用運送事業(貨物自動車運送)登録

● 沿革

- 1938年 板ガラス原料珪砂の国内自給を目的に静岡県賀茂郡宇久須村に東海工業株式会社を設立。
資本金100万円
- 1939年 伊豆工場(現伊豆事業所第1製造所)建設、板ガラス用珪砂生産開始
- 1945年 資本金200万円に増額
- 1948年 愛知県瀬戸市陣屋地区及び豊田市大畑地区でガラス用珪砂の生産開始
- 1949年 産業復興公団事業として伊豆新工場(現第2製造所)増設。宇久須港に専用埠頭完成
- 1953年 資本金を50百万円に増額
- 1954年 東京都千代田区に本社移転
- 1962年 大畑工場を建設、磨用珪砂生産開始
- 1964年 大畑工場(名古屋事業所)に浮遊選鉱法による珪砂・長石の生産設備建設
- 1966年 伊豆事業所で軽量気泡コンクリート(ALC)用珪石生産・出荷開始
- 1968年 資本金を2億円に増額
- 1970年 資本金を4億円に増額
- 1980年 相馬事業所建設、ガラス用珪砂生産開始
- 1986年 台湾に合併で台湾東海興工(股)を設立、TVブラウン管ガラス用珪砂・長石生産開始
- 1987年 東京都港区に本社移転。建材販売開始
- 1988年 名古屋事業所に微小ガラス中空球体「セルスター」工場建設・出荷開始。貿易業務開始
- 1991年 岩手県久慈市の東立鉱業(株)を川鉄鉱業(株)と共同で買収。
- 1999年 液晶ディスプレイ基板・カバーガラス用珪砂粉を開発、販売開始
- 2006年 ベトナム低鉄珪砂開発・販売開始。AGCグループ統合環境マネジメントとしてISO14001認証登録
- 2007年 栃木県鹿沼市にアワノ砕石(株)をJFEミネラル(株)と共同で設立。珪石生産開始
- 2009年 全社でISO9001認証登録
- 2014年 台湾に全株子会社、台湾東海工業(股)設立
- 2018年 マレーシア珪砂取り扱い開始

2022 年	マレーシアにマレーシア駐在員事務所設立
2023 年	社名を AGC ミネラル株式会社に變更
2023 年	台湾東海工業(股)の社名を AGC ミネラル台湾(股)に變更
2024 年	「西伊豆・森のエナジー社」への出資、会社設立
2024 年	東京本社、豊田テクニカルセンターのオフィ斯里ニューアル
2025 年	2025 健康経営優良法人認定（経済産業省・中小規模法人部門）を取得

● AGC ミネラル経営基本理念

①顧客本位

私たちは会社を「顧客価値創造」のプロセスと捉えて、顧客満足を追求します。

②独自能力

私たちは当社だけの独自の見方、考え方、方法による価値実現を目指します。

③従業員重視

従業員の自主性と創造性を高めて、自由に発想し自由な対話ができる環境を大切にします。

④社会との調和

私たちは社会に貢献し、社会価値と調和することを目指します。

● AGC ミネラル品質方針

私たちは A G C グループの一員として「A G C グループ品質マネジメント基本方針」を尊重して、この品質方針を定め、次の事項を実施します。

- ①単に製品品質のみならず、事務管理やサービス等も含めた一連のビジネスプロセス全般に亘って、真に有効で効率的な品質マネジメントシステムを確立します。また、自社品のみならず外部委託製品も含めた広範囲な活動とします。
- ②ISO9001 の手法に準拠し、その有効性を継続的に改善することによって、品質上の不具合を撲滅します。
- ③法令・規制要求事項の遵守は勿論、常にお客様重視の視点に立って行動します。
- ④ミッションに沿って「技術とサービスで差別化した付加価値商品とソリューションを提供する」ため技術的ポテンシャルを高め、必要な資源を確保します。
- ⑤各部門長は本品質方針を受けて、各部門毎の品質方針・品質目

標を設定し、その実行計画を策定して実行します。

- ⑥マネジメントレビュー会議において、活動の進捗状況や品質マネジメントシステムの適切性について、定期的・継続的にレビューを行います。

● AGC グループ環境基本方針

【基本方針】

A G C グループは、多量の資源・エネルギーを使用する事業を営んでおり、グループビジョン“**Look Beyond**”の私たちの価値観の一つとして「環境（エンバイロメント）」を定め行動します。

私たちは、限りある資源・エネルギーを有効に使い、気候変動並びに生物多様性を含む自然環境への影響に配慮し、素材・部材のグローバル優良企業として、持続可能な社会づくりに貢献していきます。

【スローガン】

善き地球市民として、一人一人が、環境活動に貢献しよう。

【環境行動指針】

A G C グループは、事業活動全体にわたり、以下の行動指針に基づいた環境活動に取り組みます。

- ①環境マネジメントシステムに基づく継続的な改善に努めます。
- ②環境に関するグループ内外のルールを守ります。
- ③化学物質の適正管理をはじめとして、省資源、気候変動の緩和及び適応、廃棄物の削減・リサイクルに関して A G C グループでの目標を設定し、達成に努めまた向上を目指します。
- ④環境影響を考慮した製品・技術・サービス・設備の開発と社内への提供に努めます。
- ⑤利害関係者との積極的なコミュニケーションに努めます。

● AGC ミネラル労働安全衛生方針

A G C グループは、「安全なくして生産なし」という安全衛生のポリシーの下に、各階層の管理者が自らの安全衛生に対する考え方を明確にし、これを働く部下全員に浸透・共有化させ、一人ひとりが安全衛生活動を推進することを目指します。

すべての労働災害・職業性疾病に着目し、安全衛生パフォーマンスの継続的向上を図るために、次の 5 項目を「安全衛生活動推進の柱」として積極的に展開します。

- ①重篤災害防止に向けて、危険予知のレベルアップを図ります。
- ②従来型安全活動をマンネリ化させずに継続して実施します。

- ③管理者は部下を家族と思って守り、職場の安全を実現します。
- ④設備の本質安全化、作業環境の継続的改善を図ります。
- ⑤安全衛生活動はラインの生産活動の一部と認識して実施します。
- ⑥全員で参加し、形式ではなく本音で安全衛生活動を実行します。

● AGC グループ社会貢献基本方針

AGCグループは、「AGCグループ企業行動憲章」において、「善き企業市民として、その社会と地域に対する責任を果たす」ことを宣言しています。この理念を実現するため、私たちは、3つの重点分野を中心に、積極的に社会貢献活動を行います。

重点分野

□ 人づくり

将来を見据えて価値を創造する私たちは、未来を担う子どもたちが夢に向かって成長できるよう支援します。

□ 地域との共生

地域社会の一員である私たちは、その持続的な発展に貢献します。

□ 自然環境への貢献

グローバルに事業を行う私たちは、地球規模の環境問題の解決に貢献します。

● 主な営業商品

ガラス・セラミックス・建材・その他工業用原料

- | | | | | | |
|---|---|---|--------------------------|---|------|
| 珪 | 砂 | 板ガラス用、太陽電池カバーガラス用、特殊ガラス用、食器用、研磨用、鉄鋼用、釉薬用、建材用、コンクリートブロック用、レディーミックス用、流動床用、濾過用 | | | |
| 珪 | 砂 | 粉 | FPD 基板ガラス用、ガラス繊維用、特殊ガラス用 | | |
| 珪 | 石 | 軽量気泡コンクリート（ALC）用、製鉄用、セメント用、農薬担体用 | | | |
| 珪 | 石 | 粉 | ガラス用、断熱保温材用、外装材用 | | |
| 長 | 石 | ガラス用、釉薬用、セラミックス用、溶接棒用 | | | |
| ド | ロ | マ | イ | ト | ガラス用 |
| 粘 | 土 | 耐火煉瓦用、屋根瓦用 | | | |

研 磨 材 ガラス用、電子用

工 業 薬 品 ガラス用、塗料用

金属化合物 ガラス用、セラミックス用、塗料用

機能性フィラー

フライアッシュバールン 外装材、プレキャストコンクリート用、軽量モルタル用、塗料用

マイカ（雲母） 樹脂用、人工大理石用、外装材用

ガラスカレット ビーズ用、道路白線用

緑化・園芸・スポーツ施設用資材

珪 砂 バンカー砂、芝目土、養浜用、人工芝用、競馬場用

玉石・砂利 園芸用、建材用、濾過用

建材

ガラス瓦 屋根瓦採光用

その他 骨材、碎石、その他

リサイクル・テクニカルサービス

ALC 廃材リサイクル 路盤材、肥料、園芸緑化材、ガス吸着材、脱臭材、調湿材

テクニカルサービス 資源調査、鉱物・無機材料の分析・試験、選鉱プラント設計・品質管理指導

● 品質管理・技術開発

■ 品質管理設備

- ・波長分散型蛍光X線分析装置（XRF）
[島津製作所 XRF-1800]
- ・X線回折分析装置（XRD）
[リガク Multi Flex]
- ・ICP発光分析装置
[島津製作所 ICPS-7510]
- ・レーザー回折・散乱式粒子径・粒度分布測定装置
[日機装マイクロトラック MT3300EX II]

・乾式密度測定器

〔島津製作所 MVP1305〕

・高周波ビードサンプラー 〔リガク製〕

■主な試験・評価設備

- ・オートクレーブ装置
- ・粉末度測定器
- ・圧縮強度試験機 (ブレン空気透過装置)
- ・大型切断機
- ・乾式磁力選鉱機
- ・ボールミル粉碎機
- ・テーブル選鉱機
- ・ジョークラッシャー
- ・スパイラル選鉱機
- ・ロールクラッシャー
- ・その他

● 主なお取引先

(五十音順、アルファベット順)

■主な国内販売先

旭化成建材(株) A G C (株)
アグロカネショウ(株) A G Cセラミックス(株)
クリオン(株) ケイミュー(株)
(株)神鋼環境ソリューション 住友金属鉱山(株)
太平洋セメント(株) (株) デイ・シイ
T O M A T E C (株) ニチハ(株)
日本インシュレーション(株) 日本ケイカル(株)

■主な海外販売先

AGC DISPLAY GLASS TAIWAN CO.,LTD AGC FLAT GLASS (DALIAN) CO.,LTD
AGC FLAT GLASS (THAILAND) PUBLIC CO.,LTD AGC FINETECHNO KOREA CO.,LTD
PT.ASAHIMAS FLAT GLASS TBK PT.ASAHIMAS CHEMICAL

■主な取引金融機関

三菱UFJ銀行 三菱UFJ信託銀行

● 営業・製造・研究拠点、関係会社

■本社

東京都港区芝 3-1-15 芝ポートビル 6 階 〒105-0014
電話(03)5419-9016 FAX (03)5419-9018

■西日本営業部

愛知県豊田市大畑町油摺 393 〒470-0355
電話(0565)48-8221 FAX (0565)48-5364

■艾杰旭礦物工業股份有限公司 (AGC ミネラル台湾)

台中市崇徳路二段 128 號 16 樓之 1
電話 +04-2236-3429 FAX +04-2236-1485

■伊豆事業所 (伊豆けい石鉱山)

静岡県賀茂郡西伊豆町宇久須 2-7 〒410-3501
電話(0558)55-0331 FAX(0558)55-0932

■豊田テクニカルセンター (環境安全品質部・開発購買部)

愛知県豊田市大畑町油摺 393 〒470-0355
電話(0565)48-8211 FAX (0565)48-5364

■アワノ碎石株式会社 (鹿沼鉱山)

栃木県鹿沼市板荷 337-1 〒321-1111



「ほるゾー君」 当社登録キャラクター

当社 Web Page のご案内

<https://www.agc-mineral.co.jp/>



掘り起こそう 私たちの未来

Your Dreams, Our Challenge